

寒川町地域自立支援協議会 相談支援アンケート 個別集計

寒川町地域自立支援協議会では、地域の中での連携の強化につなげることを目的として、日頃から地域に様々な相談が寄せられているなかで、印象に残った相談事例や対応に苦慮した相談事例等についてアンケートを行い、改めて地域の課題の洗い出しを行いました。

なお、アンケートにつきましては、平成28年8月から平成28年9月の期間で実施し、町内の自治会、民生委員児童委員、病院相談室、小中学校、幼稚園、保育園、保健師、子育て支援員に協力を依頼しました。

この資料は、アンケートの回答内容をまとめた集計資料となります。

☆アンケートの回収状況

アンケートの配布数及び回収率等は次のとおりです。

配布数	回収状況	構成比
回収数	135	80.8%
未提出	32	19.2%
配布数	167	100.0%

※回収率は約81%となりました。

I. 在任期間

アンケートを依頼した皆さんが、それぞれ所属される団体等での在任期間となります。

期間	回答数	構成比
1年未満	10	7.4%
1年以上	38	28.1%
3年以上	16	11.9%
5年以上	39	28.9%
10年以上	18	13.3%
無回答	14	10.4%
回答計	135	100.0%

II. 相談件数

主な訴え（主訴）の件数（概数）を記載してください。（複数回答可）

直近1年間の件数（在任期間が1年未満の方は在任期間中の件数）

	本人		家族		友人		近所		その他	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
金銭	133	4.8%	68	1.1%	4	20.0%	2	7.7%	4	10.5%
健康	1,164	42.3%	87	1.4%	2	10.0%	1	3.8%	2	5.3%
生活	500	18.2%	204	3.4%	0	0.0%	4	15.4%	9	23.7%
障がい	58	2.1%	88	1.5%	0	0.0%	7	26.9%	4	10.5%
介護	371	13.5%	494	8.2%	7	35.0%	0	0.0%	5	13.2%
子ども	315	11.4%	5,067	83.9%	5	25.0%	10	38.5%	8	21.1%
引きこもり	4	0.1%	21	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.6%
その他	207	7.5%	8	0.1%	2	10.0%	2	7.7%	5	13.2%
合計	2,752	100.0%	6,037	100.0%	20	100.0%	26	100.0%	38	100.0%

Ⅲ. 解決に困った相談

解決に困った相談について記載してください。

(個人情報等が含まれる場合など、一部内容を編集している場合があります。)

No.	相談内容
1	母親より子どもが偏食で困っているとの相談があった。→こまめに連絡を取り合っている。
2	近所の同じ年の子が自分の子と遊んでくれない。自分の子が外に出ると家に入ってしまう。 →原因がわからない。
3	入院していた家族の介護が必要と思われるが、妻一人で介護に不安を感じていた。 →様子を見ていたところそれほどでもなかった。
4	母より登園時に子どもが泣くとの相談。→温かく受け入れ、安心できるよう声かけしている。
5	虫刺されや怪我がないようにしてほしい。
6	母より家庭での咀嚼、食べ方について相談を受けた。 →園では問題なくできているので、連絡を取り合い見守っている。
7	母親より学力が心配で普通級に通えるか相談を受けた。→2学期の様子を見守る。
8	解決に向かってそれぞれ方向性が見えている。
9	保護者より不登校について相談を受けたので、児童相談所を紹介した。 →保護者と連絡をとりながら登校の促し及び見守りを継続している。
10	親より子どもの引きこもりについて相談を受け、相談指導教室を紹介した。→改善せず。
11	本人(中学生)より母子家庭だが、母親が入退院を繰り返すとの相談。 →祖母、児相、保健福祉事務所と連携して対応中。
12	本人より子どもについて相談あり。→前向きに人生を歩み始めている。(?)
13	保護者、担任より友人とのLINEトラブルが元で小学校から不登校(引きこもり)でだんだん外に出たがなくなってしまったとの相談。→SCから医療機関につなげ複数を受診。
14	学校(担任?)より引きこもりについて相談があった。→民生委員を紹介し見守りを継続している
15	生徒より保護者から暴力を受けていて困っている。ネグレクトもあるとの相談。→児相に相談し見守りを継続している。
16	病棟看護師より身寄りがない方が入院後、意識障がいを起こしコミュニケーションがとれなくなった。→町役場に相談したが、町の方もどう対応したらよいのかわからない様子だった。現在は死亡。
17	家族の方から本人から暴力を受けているとの相談があった。 →精神科を紹介し、外来通院から入院へとつなげた。
18	受診をするとお金がかかり日々の生活に影響するので受診はしたくない。 →健康を害さないために、受診の必要性を説明するしかなかった。
19	病院より紹介されたとのことで本人より金銭面での相談。 →茅ヶ崎保健福祉事務所へつなげたが、生保該当せず見守り継続。
20	出産時の経済的不安について相談あり。→医療機関を紹介し、訪問している。
21	母親より障がい児の通所、通学の相談。→利用中の社協送迎サービス担当に話をしたところ、養護学校、学校教育課と相談しているとのこと。
22	病院CWより独居の高齢者が入院中急変し、支払いやもし死亡された後どうすればよいか。 →茅ヶ崎保健福祉事務所に相談したところ死亡前に遠縁の方が見つかった。
23	産後うつが受け入れられず、受診が勧められなかった。→けやきの森病院を紹介し解決した。
24	母親より「うちの子障がい持ってますか?」と相談を受けた。 →専門医への相談の予約をとり、見守りを継続している。
25	担任より受け持っている園児のこだわりが強く集団生活を他児と一緒にすすめられない。 →どんな対処方法があるか知りたい。
26	担任より受け持っている園児から言葉が出ない、耳が聞こえていないのか?との相談。 →様子を見ている。
27	親より不登校の相談→学校とも調整し、登校刺激を控えるも生活支援から見直しをし、相談継続。

No.	相談内容
28	本人より被虐待者同士の結婚・子育ての困難と自己肯定感持てぬことでの混乱。かかりつけ精神科で十分話せず→自身の確認が必要な時、受容・共感をしながら相談者が整理できるよう電話相談を継続中。（電話相談のみ7年目）
29	本人より夫が妻（本人）、子どもに対しても暴言暴力をふるう。 →各機関と連携をとり支援センター自体でもミーティング・見守りを継続。
30	利用者より階下の住人による子どもの足音等過度の苦情→母の思いを受ける事を継続中。
31	利用者より自閉症のため遊び場で他の子に迷惑をかけてしまうのが心配。 →遊び場で一緒にやってみようというスタンスで行っており、見守りを継続している。
32	まかせて会員より家庭内不和（夫婦間・子どものこだわり）について相談を受けている。 →関係機関につなぐ
33	近所の方より階下から子どもの泣き声・親のしかる大声が聞こえてきて、聞いているだけでつらい→見守りを継続。
34	近所の方より高校でいろいろといじめなど問題がある様子→あまりよくわからないため見守り。
35	嫁より日中独居で2Fに居るほぼ寝たきりの認知症をヘルパーが来ない日は見守りをして欲しい →見守りを継続。
36	近所の方より精神疾患のある方の騒音がきになる →福祉課・福祉士さんなどに相談しながら（最近は苦情がないが）見守りを継続。
37	近所の方より精神・発達障がい（の家族の方が）通所施設には時々行っていて、将来グループホームに入所させたいと考えているがなかなか本人にあうホームが近いところが見つからない。→見守りを継続。
38	隣人より隣の独居老人が酒を飲んで自転車で帰宅して庭で倒れた。→見守りを継続。
40	近所の方より福祉関係すべての援助を拒み、見守りを継続。
41	本人よりお金がない、お金を貸して欲しいと自宅に来た。 →社協に連絡し相談、社協と連携をとり、見守りを継続。
42	近所の方より家族（次男）が父親が亡くなった頃から家庭内において暴力をふるうようになった。→福祉総務を紹介し見守りを継続。
43	60代女性より隣人より突然嫌がらせが始まりいたたまれなくなり直接相談に来た。 →ある程度改善された。
44	近所の方より迷子になり自宅に戻れない女性が居る。その時は他の近所の方に付き添ってもらい帰宅できた。自転車で道がわからなくなる事もある。後訪問して確認したところ、息子がいるが勤めていて日中は一人で過ごしている。ヘルパーを利用している。→迷子になる事が続くようならば、包括センターに一度連絡しようかと思っている。
45	近隣の方の騒音が気になると相談を受け、一度は事務局に報告。その後は依頼者に時々様子を伺う。
46	近所の方数人よりゴミ出しや救急車を呼んで欲しい等他人に頼りすぎる面が多い。 →包括へ相談、ケース会議を行った。
47	家族よりアルコール依存症についての相談。→包括へ相談、見守り。
48	近所の小学一年生の子ども、不登校ぎみ。理由は母親の朝送り出す意識が低いこと。 →福祉事務所を紹介。
49	近所の方より認知症の相談
50	担当区内の不登校の子ども。母親にアルコール依存症があり子どもを登校させられない。多くの機関が関わっているが改善しない。→見守り
51	近所の方より知的障がい者の方の相談。近所に後見人。→見守りをし、現状を話す
52	自分も親から愛情を受けて育ててもらっていないので子育てに不安がある。 →色々な面で話を聞き、相談にのり見守っている。
53	母より自分の子が標準より太っていないか相談あり。 →特に太っていないが、その度に話を聞いている。

No.	相 談 内 容
54	衣服の入れ間違いについて。
55	保護者より生活の質の維持について相談を受けたので児童相談所を紹介した。 →児童の様子を見ながら必要に応じて保護者と連絡をとり見守りを継続している。
56	保護者より子どもが学習面の不安から引きこもってしまっているとの相談。 →担任とS Cが家庭訪問を繰り返し支援中。
57	担任より受け持っている生徒が欠席をしても保護者と何の連絡もとれないとの相談。 →民生委員、児相に連絡し、見守りを継続。
58	生徒より障がいについて相談あり。→医療機関を継続受診している。
59	両親より障がい児のサービス事業所が少ない、利用できるサービスも少ないとの相談。 →話を聞き、必要時は担当部署にも伝えた。
60	GH管理者より独居入所者の息子と連絡が取れない。本人の認知が進んでおり成年後見を考えたい。 →地域包括支援センターを紹介し、息子と連絡をこころみ経過観察中。
61	母親が知的障がい適切な育児が支援しても行えない。→保育園にて見守りを継続中。
62	担任より受け持ちの園児に多動、こだわり（こだわりを中断するとかんしゃくを起こす）があるとの相談。 →その子に合わせた関わりを考えながら見守っている。
63	担任より受け持っている園児の言葉が遅い、多動、こだわりが強くわがままとの相談。 →様子を見ながら接している。
64	近所の方より1人暮らしの方が認知症（?）、パジャマで夜歩いたり、自転車で転んでいるのを目撃。 →様子を見る。
65	障がい児の親より幼稚園の夏休み中の預かり、土日の過ごし方→相談継続
66	本人より子どもが生まれてから夫とのコミュニケーション等で?が増大。発達障がいがあるのではないか…夫は困っていないが、生活を共にしている妻（相談者）の困惑大。子育てへの影響も生じている為影響が大きくなるよう対応。 →現在も状況を把握し相談者が話せる人・場所として関係性を保っている。子どもは保育園に入園し子の安全と母親のストレス軽減を保てるようにしている。
67	母より子どもの生まれつきの障がいの為行動も制限されている中での母の不安いら立ちを受け止めている。
68	利用者より子どもにイライラして家で二人でいる事がストレス。→母子との関わりを検討中。
69	DVの相談から始まって様々な問題を抱えていたのでつなぎ先に困った。 →役場障がい福祉課を紹介し見守りを継続。
70	本人より独居で末期がんで入退院を繰り返し今は毎日ヘルパーさんや訪問介護の人たちが入っている。 →見守りを継続。
71	年金受給者本人より所持金が百円単位だと相談を受けた。お金の使い道は説明してくれず、お金の管理はできない人ではないと思われる。 →関係箇所につなぎ見守りを継続。
72	近所の方より近所のご主人が自宅に引きこもっている。自家用車が全く動いている様子がない。 →福祉課職員と訪問したが今現在も見守りを継続。（自家用車は処分）
73	発達障がいにより頻繁に電話をかけてくる。町障がい福祉担当へ相談。→見守り継続中
74	近所の方より、子どもの泣き声の相談。→健康スポーツ課を紹介。泣き声なくなった。
75	近所の方より身体障がい者の方の相談→見守りをしてなるべく話をする
76	発達について。
77	保護者及び民生委員より不登校気味の生徒について相談を受けたので茅ヶ崎保健所を紹介した。 児童の様子を見ながら必要に応じて担任が保護者と連絡をとり見守りを継続している。
78	保護者よりコミュニケーション力が不足（障がい?）しているとの相談。→ことばの教室を紹介し、先生と面談しWISCを受け、その結果をもとに家庭と学校で支援中。
79	ケアハウス職員が決められたことをしない（胃ろうからの経管栄養にかかる時間が短すぎる等）。 →県高齢施設課に連絡し介護相談員に情報収集を依頼している。

No.	相 談 内 容
80	母親がボーダーで子どもの障がい認められず、適切な療育につながらない。 →小学校に情報提供した。
81	担任より多動の可能性がありそう、集団生活についていけないとの相談。 →声をかけながら無理をさせないように見守っている。
82	言葉が出にくく自分の思っていることを上手く話せない子がいる。
83	近所の人より財産整理をして生活保護を受けているので自治会費は払わない。→私も払いたくないと広がってしまう。
84	無申告の両親、無保険の状況から制度につなげる→見守り継続
85	妻より夫との生活が金銭的にも苦しく夫の行動も我慢していたが、子どもを抱えての生活への不安、自身の仕事への不安で離婚に踏み出せずにいる。子どもを産んでしまった事を後悔する事も。→見守り・状況把握に努めている
86	利用者より親族に対しての不信感・不満。生活のために退職できず復職。 →親族との関わりを検討していたが、復職により現在は接点なし。
87	家族より認知症で耳も悪く外出すると家に戻れず。最近息子の所へ来たため認知症が進んでしまった。→見守りを継続。
88	障がいがある子どもの母親より子どもの問題行動について相談。→福祉課など見守りを継続。
90	中学校不登校。→児相・中学校などで相談継続中。
91	不登校。→見守りを継続。

IV. 役割の認知度

次の役割を知っていますか。(未記入の場合は「知らない」で集計)

分 類	知ってる		知らない		計
1 民生委員	122	90.4%	13	9.6%	135
2 自治会	125	92.6%	10	7.4%	135
3 保健師	112	83.0%	23	17.0%	135
4 子育て支援員	105	77.8%	30	22.2%	135
5 社協	109	80.7%	26	19.3%	135
6 福祉課総務担当	80	59.3%	55	40.7%	135
7 学校(支援級)	119	88.1%	16	11.9%	135
8 当事者団体	36	26.7%	99	73.3%	135
9 相談支援事業所	55	40.7%	80	59.3%	135
10 町福祉部	94	69.6%	41	30.4%	135
11 町健康子ども部	70	51.9%	65	48.1%	135
12 児童相談所	124	91.9%	11	8.1%	135
13 精神科	109	80.7%	26	19.3%	135
14 保健所	123	91.1%	12	8.9%	135
15 通所施設	109	80.7%	26	19.3%	135
16 入所施設	107	79.3%	28	20.7%	135
17 ヘルパー	123	91.1%	12	8.9%	135
18 グループホーム	108	80.0%	27	20.0%	135
19 放課後デイ	85	63.0%	50	37.0%	135
20 児童発達支援	80	59.3%	55	40.7%	135

○事由記載欄

No.	相 談 内 容
1	町の3才半健診の時にアンケートだけではなく、実際に簡単な事をさせてみてもよいのではないかと思います。（昔と変わっていないければ、親へのアンケートで、子どもができないことでもできると回答してしまう親がいる。
2	障がいがあるのかわからない子もいるので様子を見に来てもらえるとありがたい。また、接し方なども教えて欲しい。
3	障がい者といっても多種多様で全体より総論より各論の対策をしないと話は先に進まないと判断します。このアンケートで情報収集することも必要と思いますが、近年（約20年の間）に町が障がい者に対して切り捨てたこと（行政では改善、改革）をもう一度見直して必要なことをピックアップしてはどうでしょうか？好きで障がい者になった人はいないと思いますし、健常者と同じ様な生活を望んでいるはずで。障がい者でも「安全・安心」の住みやすい寒川町ができますようにご協力したいと思います。
4	Ⅱの数を数えるのは難しいです。（相談者・主訴共に重複多数あり）Ⅲは解決は自分にはできないので答えられません。
5	事業内容が会員間の仲介業務なため、お子さんの預かりを通じて預かる側からの親のパーソナリティについてや、お子さんの発達のおまじないについて相談されることが多い。困り感がある場合は預かる会員さんを通じて期間につなぐことも考えられるが、困り感（親子）がない場合は預かる会員さんの負担感を減らす努力をしている。